

セレットクラブ、平成27年度定時総会を開催

セレットクラブ（金城有助会長）は4月5日、華正樓新館（神奈川県横浜市）で平成27年度定時総会を開催した。

総会では2014年度事業報告及び収支決算報告、役員の変更、2015年度事業計画及び会計収支予算が審議され、すべて可決された。

総会後の懇親会では、先進予防安全装備普及に伴う在庫台数減少及び車体修理技術の高度化を踏まえた見積りのあり方など、業界を取り巻く様々な問題について活発に情報・意見交換が行われた。



クルーバー HD、2014年度決算及び2015年度事業計画を発表

クルーバーホールディングス（石田誠社長）は4月27日、新横浜プリンスホテル（神奈川県横浜市）で2014年度決算を発表した。

同社連結売上高は61億4,600万円で、消費増税後の消費冷え込みや冬物商品の不調により、前年度より7,700万円減少した。だが利益率重視経営へのシフトにより、売上総利益は同5,700万円増の28億4,900万円、売上総利益率は同1.5ポイント増の46.4%に上昇。事業別では、アップガレージ事業が46億400万円、フランチャイズ事業が6億6,600万円、東京タイヤ事業が8億7,600万円だった。

フランチャイズ店の売上高は、同6億8,200万円減の117億3,300万円。その結果、グループ全体の総売上高は、同7億5,900万円減の178億7,900万円となった。

2015年度は、アップガレージの直営店8店舗増（計37店舗）及びフランチャイズ店20店舗増（計130店舗）、東京タイヤのフランチャイズ店29店舗増（計158店舗）及びスタッドレスタイヤを中心としたホイールとのセット販売開始、今年4月1日にWEB・システム部門のクルーバー事業本部を分社化し設立した「ZERO TO ONE(ゼロトゥワン)」のWebサイト取扱高拡大などを計画。グループ業績予想は、売上高を2014年度比5億5,400万円増の67億円、売上総利益を同3億5,100万円増の32億円、売上総利益率を同1.4ポイント増の47.8%としている。



全整協、岐阜県研修会を開く

全国自動車整備協業協同組合協議会（全整協）と岐阜県自動車整備協業組合連絡協議会は4月9日、岐阜県美濃賀茂市内のシティホテル美濃賀茂で研修会を共催した。

冒頭、挨拶に立った濱徹雄・全整協会長は、「車検集約組合としてますます厳しい市場環境にさらされていく。ユーザーの節約指向も強まる一方、新技術への対応についても悩みは尽きない。集約組合として今後、どう生きるか考えなければならない」と指摘。続いて挨拶した田中幸夫・岐阜県全整協連絡会会長も、「情報交換などを含めてこうしたセミナーの場を積極的に有効活用してもらうことで会員各社の活性化に生かしてほしい」とエールを送った。

講演会は、「未来を創造する整備業勝ち残り戦略」（沖晋・カービジネス研究所特別顧問）と「明日の整備組合 希望を持てる未来を切り拓くために——強い組合組織と組合員企業づくりに向けて——」（鈴木芳美・∞Cオフィスすずき代表）の二部構成。セミナーの間に行われた事業活動の発表では、全整協で表彰金2年連続全国1位となった御坊自動車整備協同組合の北垣順一会長から、「御坊エリアは全国で千分の一市場であるが、器づくり、組織づくり、車検だけに頼らないビジネス展開、そして会員のためのなることに徹し、投資は無借金を前提に進めている」という活動報告があった。

